

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
設計製図 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	岩田 明士 、他4名			実務経験	無	職種	建築設計・監理 一級建築士				
担当教員紹介											
アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。 独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年ほど行う。 資格：一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級											
授業概要											
この授業では、実習を通して「考える」・「まとめる」・「やり遂げる」という学習を採り入れる。考える力を養い、スケジュール管理をすることが重要である。また、欠席者、授業内未完成者は、必ずその日に行った授業内容を確認および自宅学習し、次の授業までに準備してくること。											
到達目標											
(1) 敷地調査／(2) 企画・提案力／(3) 作品をまとめて上げる力／(4) 表現する力／(5) 他の学生の作品を評価する力ー (1) では、敷地および周辺環境・社会的状況を読み解く力＝「調査」「分析」「検討」し、(2) では、どのように条件に合った空間を提案していくかということを学生自らが考え、(3) ～ (5) までの過程では、自主的に作り上げ、自分の言葉で表現し、他の作品を評価することが出来るようになることが目標である。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題	40%	課題を総合的に評価する									
小テスト	0%										
途中経過	20%	授業内容の理解度および出来高を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる表現力、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・教室を綺麗に整理整頓し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。 ・作品の完成度を上げることが重要なので、毎回進展したエスキス・スタディ模型を提出すること。											
教科書教材											
初学者の建築講座-建築計画（第3版）、第3版コンパクト設計資料集成（丸善）、建築デザイン製図（学芸出版社）／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション 課題説明 敷地調査概要提出、コンセプト、 エスキス・スタディ模型①チェック（2案）										
第2回	設計課題1 敷地模型完成 コンセプト決定・エスキス・スタディ模型②チェックおよび作成、写図（RC造）①										
第3回	設計課題1 エスキス・スタディ模型チェックおよび作成、写図（RC造）										
第4回	設計課題1 エスキス・スタディ模型チェックおよび作成										
第5回	設計課題1 C A D図面チェック（配置図・1階平面図） 本体模型作成（1/100以上）										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
設計製図 3	
第6回	設計課題1 中間発表 中間発表（A3用紙4枚、エスキス図含む）
第7回	設計課題1 C A D図面チェック（断面図・立面図） 本体模型作成
第8回	設計課題1 図面・模型提出、模型撮影
第9回	設計課題1 模型撮影 プレゼンシート作成・模型ブラッシュアップ
第10回	設計課題1 講評会 卒業制作説明 プレゼンシート・模型提出 個別発表会、選抜講評会
第11回	卒業制作 制作内容決定 → 敷地選定（2案）・調査概要チェック 工程表作成①
第12回	卒業制作 工程表チェック、敷地概要・その他チェック
第13回	卒業制作 中間発表 中間発表（A3用紙4枚、エスキス図含む） 敷地模型作成、地図作成
第14回	設計課題2 即日設計 課題説明
第15回	卒業制作 コンセプト・エスキス・スタディ模型チェックおよび作成